

第6回大阪府地方独立行政法人評価委員会病院部会 議事要旨

- 1 日時 平成19年8月31日(金) 午前10時20分～10時40分
- 2 場所 大阪キャッスルホテル6階「鳳凰」
- 3 出席委員 松澤部会長、辻本委員、服部委員、山谷委員、
奥林委員長(オブザーバー) (中島委員、宮嶋委員は欠席)

4 議題

- (1) 平成18事業年度の業務実績に関する評価について
- (2) その他

5 議事概要

開会

<議事内容等の確認>

これまでの審議等の経過、本日の議事内容について、部会長から確認があった。

議事

(1) 平成18事業年度の業務実績に関する評価について

<評価(案)についての資料説明>

前回部会の後、部会長一任のもと、評価結果(素案)を作成し、8月24日に府立病院機構へ提示、意見照会を行い、8月28日付けで特に意見なしとの回答があった旨、事務局から報告があった。

資料5「評価結果(たたき台)に対する意見と修正点について」、資料6「平成18事業年度の業務実績に関する評価結果(案)」及び資料7「平成18事業年度の業務実績に関する評価結果<参考資料>小項目評価(案)」により、評価(たたき台)に対する委員からの意見とそれらを踏まえた具体的な修正内容について、事務局から説明があった。

また、資料8「平成18事業年度の業務実績に関する評価結果の概要(案)」について、評価結果を報道提供する際の資料として作成した旨の説明があった。

<評価結果(案)の審議と決定>

委員から特に意見がなかったため、部会としての評価結果(案)の決定に入った。「平成18事業年度の業務実績に関する評価結果(案)」は資料6のとおり、また「平成18事業年度の業務実績に関する評価結果<参考資料>小項目評価(案)」は資料7のとおり決定することについて、各委員に諮り、異議なしとして決定された。この後に開催される第14回評価委員会において、これらを部会の案として報告することとなった。

(2) その他

委員から意見があり、事務局が回答()で表示した。

- ・ 評価結果を府民に公表するに当たっては、専門用語の説明が必要かもしれないという気がしている。例えば「政策医療」など、なかなか素人にはわからない言葉だろうと思う。アカウントビリティ、説明責任という一環で、なるべく用語を分かりやすくし、あるいは説明するようお願いしたい。
- ・ 具体的には、資料8が公表されるのか。
公表されるのは評価結果と概要だが、ホームページでは、小項目評価も公表する。資料作成の際には、府民に分かりやすいということを念頭に置き、例えば「SPD」も括弧書きで注釈をつけている。
- ・ 「クリニカルパス」なんかでも分かりにくい。例えば、報告書に用語解説集みたいなものをつけてはどうだろう。
- ・ 資料8では、各病院が大阪府の医療政策実施機関として担うべき医療、これを括弧して政策医療と書いているわけだが、ここはこれでいいのか。
- ・ 資料8は、簡素化されているので仕方ないのだろうと思うが、ホームページなどで公表するときは、なるべく用語が分かるよう工夫が必要だと思う。専門家と府民の方々をつなぐシステムとして、この評価が入っていることを考えれば、府民に分かりづらいと、独法のシステムは何だろうということになると思う。
ホームページで公表する際には、一見して分かりにくい専門的な表現については、できるだけ、そこで分かるよう表示を工夫することとしたい。

閉会

閉会に当たって、部会長から次のコメントがあった。

- ・ 今回初めての評価であったが、政策医療とは何なのか、大阪府としての医療行政の基本的なコンセプトがどこへ盛り込まれるのか難しい。今回、呼吸器のところでは結核が取り上げられたが、患者が減っていくことが政策医療かという問題もある。国は、予防医学ということで、医療費を抑制し、早い時期に病気を減らそうとしているが、府は、今のところ、重症の、難治性の疾患を包括した医療を行うということになっている。今後の府の医療行政のコンセプトについて、5つの病院を使って、非常に効率的に良くやって行けるという連携が分かるような取組みをしていただければ、府民にとっても非常に良いことだと思う。

現在、医療に対する府民の関心が高まっている。それぞれの病院でやっていることだけでなく、独立行政法人の府立病院機構がどれくらい府民に対してメッセージを出せるのかということが、これからの課題だと思う。評価においても何かそういう方向の提案をしていただけることを期待したい。

病院部会はこれで閉会させていただくが、非常に短い期間で、3回にわたって本当にありがとうございました。特に精神医療センターの見学は、非常に印象に残り、委員にとっても非常に良い経験になったということを知っている。今後もそういうことをやりながら適切な評価をしていきたいと思っている。

以上